

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。
スペースの工夫をして活動をしている。

B：児童への支援内容

活動内容特性に合わせて、対応を工夫している。
4～5人のグループで活動している。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。
必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

適切に果たしている。
日々、信頼構築に努めている。
新型コロナ感染予防対策のため保護者会は未実施。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。
緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

スペースが少し狭い。
スペースを工夫して活動してくれている。

B：児童への支援内容

子どもが楽しんで通所しているので満足している。
自宅でできない活動内容を考えてくれていて助かる。
※コロナが落ち着いたら、調理プログラムや、
外出プログラムをして欲しいとの意見あり。

C：事業所からの情報発信

保護者会や茶話会の実施は、現在の状況を考えて（新型コロナ）は仕方ないと思う。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 新型コロナ感染症の感染予防対策を実施しながら、今出来る事を考えて活動を提供した。
- ② 児童への支援内容への取り組み（事業所）に対して、客観的な評価（保護者）が高い。

【相違点】

特になし。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、毎回同じメンバーで同じ活動を継続する事が出来る。

事業所の改善点

- ・コロナの感染状況に応じたプログラム運用をしていく。
- ・感染予防対策を実施しながら、保護者との信頼関係を育み、利用者が満足できるサービスを継続できるようにする。

事業所の改善への取り組み

- ・新型コロナの感染拡大の収束が見通せる時期になったら、定期的な保護者会・講習会の開催を企画していきたいと思う。
- ・新型コロナの感染状況に応じて、フレキシブルにプログラムの内容を検討していく。
(但し、人によってリスクへの考え方が違うので、安全面を第一優先とする。)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この機会に、運営やサービスを職員間で自己評価し、客観的な視点で、事業所の成長・改善につなげる事ができると感じている。

利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供をするために、保護者からの意見を役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズ